



市民の願いにこころ寄せて議員活動に全力

日本共産党 京都市会議員

# 西村 善美 よしみ

2018年 4月15日(日)

議員活動報告 NO、288号

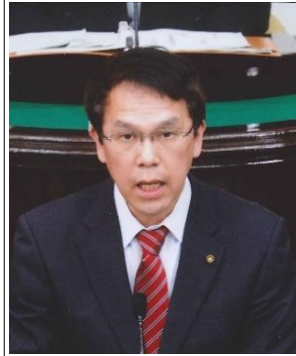
○西村事務所 右京区梅津高畝町 39  
Tel, FAX 872-9653

○自宅 右京区梅津東横口町 17-405  
Tel, FAX 864-2009

## 国保、介護、子育て、貧困対策など厳しく追及

### 西村市議、予算議会代表質問

2月16日から開催した予算議会が、3月20日で終了しました。予算議会では、市長から提出された議案102件を審議し、1件を修正のうえ全て可決しました。議員提出議案については、来年度も引き続き議



員報酬を10%削減する条例及び会議規則の一部改正を可決したほか、意見書5件を可決しました。  
西村市議(右京区選出)は今議会で、代表質問、市長総括質疑などに立ち、国保料・介護保険料引き下げ要求、子ども医療費支給制度拡充など市民の切実な暮らしの問題について市政を質しました。  
党議員団は、一般会計予算案ほか市長提案の予算に対して、市民の暮らしを応援するため予算組み換え動議を提出しました。

### 高雄通学路、次期工事の早期着手を

予算議会、建設局の質疑

国道162号線の高雄通学路整備について質疑をしました。「同一」工事では道路が拡幅され子どもたちが利用する通学路が大きく改善されます。西村市議は、引き続き北方向の道路整備を進めるように求めました。

西村市議質問⇒「通学道路に利用されている、国道162号線の高雄地域の危険な道路がこの度大きく改善され、長年の地元の願いが叶うこととなった。しかし、小学校、中学校までの道路は以前危険な道路が残されている。引き続き北方面の改良が必要だ。今後の道路改良工事について、計画の具体化と工期の予定はどうか。」



(答弁↓担当部長)  
「平成30年度で第1、第3工区が完成の見込み。440メートルの歩道整備ができ、難所の歩道整備が完了する。今後の工区320メートルは着手に向けた調査中だ。公図が混乱し用地買収等に時間がかかるが、早期着手に向けてがんばりたい。」などと答弁しました。西村市議は、引き続き高雄地域の道路整備に取り組みます。

### 生活保護費削減は認められない

西村市議質問⇒「今年度の京都市予算で、保護予算を25億円削減の提案をしているが、国会でまだ審議中の内容も含んでいる。未だ国会で決まっていない制度の改悪まで先取りしているのは認められない。市民生活への影響を考慮して、今年度の保護予算25億円削減はすべきでない」と答弁しました。

い、撤回すべきだ。」  
西村市議⇒「市民生活への影響を見る必要がある。生活保護費削減は、国民健康保険一部負担金減免への影響、母子寡婦の貸付事業、心身障害者共済事業、介護保険の利用者負担減額制度、就学援助制度など、市の様々な制度に悪影響が及ぶ。減額は認められない、撤回して保護を高めるべき」と強く求めました。

### 高い国保料さらに値下げを

予算議会の市長総括質疑で国保制度について追及しました。  
西村市議質問⇒「加入者の所得は100万円以下の

も値上げ、深草墓園使用料は大幅値上げなどしており福祉充実と自慢できる内容ではない。今後は市民の負担増加と市の国保財政も厳しさが増していく。国と府への財政支援要請を強めていく必要がある」と追及。  
(答弁↓副市長) 国保制度は「加入者に高齢者や低所得者が多い」、今後とも国に対して、国保制度の必要な改正について意見を述べていく」と答弁。



所得が8割で、殆どが低所得世帯。150万円の所得の方の保険料年額26万円はとも払えない。更なる引き下げを求め。市は一般会計繰入を縮小して「市民の皆様からの税金を他の福祉施策の充実に生かせるよう予算編成を行った」との説明だが、今年度の予算案は、保育料値上げ、介護保険料

### 三条道の嵐電のバリアフリー化について

西村市議質問⇒

「西大路三条駅がバリアフリー構想に含まれ、改良される計画。一方、構想に入らない京福電車の山ノ内駅は段差があり、安全対策が必要だ。新たな枠組みが必要ではないか。」

市の答弁⇒西院地区バリアフリーは、嵐電西大路三条は西院地区内で整備する。山ノ内駅は重点整備地区から外れている。土木事務所で段差改善など行っていく。

西村市議質問⇒

路面駅であり、通行上の改善も求められる。西部土木だけでなく出来るところは京都市しかない。前向きに検討を。